

クローズアップ

④

故郷の花火を通じて 人々に感動を与えたい



やいち
佐々木 弥市さん (48歳)
東和町・米谷2区

「今年もいい花火大会だった、と言われることが一番うれいですね」と話す佐々木さん。活動を始めて22年。現在は米谷の花火実行委員会の花火部長として活躍しています。

米谷の花火大会は戦前に始まり、今では県内はもとより東北の各地から多くの見物客が訪れます。

宮城県沖地震の影響で数年間開催されない時期もありました。昭和58年に佐々木さんをはじめとする商工会青年部などが「子どもたちに花火を見せたい」という思いから花火大会を復活させました。

現在も復活当時からメンバーが花火部を支えています。佐々木さんと同年代の方が多く、とても良く連携が取れています。

「自分たちが見てみたい花火を打ち上げる。その花火が見に来た人たちにも、よかつたなと思ってもらえれば最高です。米谷でなければ見られない花火を打ち上げたいですね」と思いを話してくれました。

これまで、大曲などの有名な大会にビデオカメラを持って視察に行ったり、花火師と話し合いを重ねたりするなどして、感動を与える花火大会

を目指してきました。

花火部での活動は、毎年6月下旬から始まります。スパーンサー探しや花火師との打ち合わせなど、その期間は裏方として大忙しです。それも、花火を見て喜ぶ人たちのことを思うと、苦にならないそうです。

「きれいな花火を子どもたちに見せて、大きくなっても忘れない心に残る花火大会をこれからも続けていきたい。市内には、すばらしい花火大会が多くあるので、お互いに勉強しあい、市の花火大会を盛り上げていきたいですね」と今後の抱負を話してくれました。

文芸コーナー

短歌

濃淡のみどり織りなす定義道

大倉湖水山並抱く

千葉 チズ(米山)

舗装路のかなた揺れいる陽炎を
波乗るようにバスの現わる

高橋 良(登米)

移植せし空心菜を見廻りて

根つきのよさに声をかけやる

日野 薫悦(迫)

裏山に白き蕾をふくらませ

強く生きよと我に囁く

菅原たえ子(中田)

香水のかすかに匂ふ少年が

われに電車の席ゆずり立つ

工藤ちよみ(米山)

里に咲く花は終りて実を結ぶ

銀山の藤は今を盛りと

津花 秀喜(米山)

ぐみを取る子供の歓声聴え来る

我家はさながら自然児童館

佐藤美穂子(石越)

昨年友に貰い受けたる鳴子蘭

今年早々太き芽の出づ

千葉 秀雄(南方)

文鳥と夫と私のくらす家

年金暮らしの安けさにおり

佐々木せい子(米山)

残雪の栗駒山に駒姿

さだかに見えて青空深し

千葉はしゆ(南方)

四季毎に日の出る位置の変わりつゝ

まるき地球に息づくわれら

千葉みゆき(米山)

サークル紹介

④

子育てスポーツサークル アクタービックス



小さい子どもは、だっこされてエアロビクスを楽しみます



代表 菅原 美保さん
(中田町・南加賀野)

連絡先 0220 (35) 2525 【中田児童館】

「親子のエアロビクスはス
キンシップにもなります。み
んなで運動する楽しみや喜び
を感じてもらいたいですね」
と笑顔で語る菅原さん。アク
タービックスは、毎月第2・
第4水曜日の午前10時30分か
ら石森ふれあいセンターで活
動しています。現在会員は35
人で、0歳から4歳までの子
どもを持つ親で構成されてい
ます。

「エアロビクスは、2年
前に児童館活動でキッズエア
ロ教室を開催したところ、と
ても好評だったため、昨年菅
原さんが中心となりサークル
を立ち上げました。
エアロビクスは、童謡を流
し、インストラクターの狩野
恵先生（中田町）の動作に合
わせて体を動かします。大人
には運動不足とストレス解消
効果があり、子どもには、リ
ズム感や集中力の向上が期待
されます。

「はじめはリズムについて
いけませんでしたが、徐々に
楽しく運動できるようになり
ました。子どもたちもいつも
聴く童謡に自然に体が反応す
るようになり、リズム感が
育っているようです」と子ど
もたちの成長を感じられるこ
とも楽しみの一つだそうです。

「誰でも気軽に参加できる
サークルにしていきたいで
す」と今後の抱負を語ってく
れました。興味のある方は中
田児童館までご連絡ください。

俳句

- 青梅を横目づかに男の子
梅雨空に峡まだ眠れり明烏
かつこうや一人山道午下り
上族のけふより母も中座敷
人待てば沙羅の初花ほつきかりと
梅雨晴れや雲の一片はぐれをり
ライラック蕾つんつん孫育つ
星さえて夏夜にうかれ兜虫
小刻みに歩行訓練小暑かな
夕日燃ゆ暑さ安らく睦橋
- 及川 寛志(東和)
小野寺和彦(東和)
首藤 和子(東和)
二木ゆきこ(東和)
鈴木 千佳(東和)
春日 悦子(東和)
菊地 ヤイ(中田)
畠山 保治(東和)
今野きよし(追)
中田まゆみ(追)

川柳

- 物忘れ脳細胞に活を入れ
多忙だと言って毎日する昼寝
人の世が嘘つき合って平和かや
曲り角飛び出し注意親子会
- 吉田まさよ(追)
千葉 青柳(追)
桜山 南仙(追)
菊田 二郎(追)
- ※応募者多数のため抽選で掲載しました。ご了承ください。

●●文芸作品募集●●

俳句、短歌、川柳いずれか1
カ月1作品。締め切りは毎月
10日。住所、氏名、電話番号
を記入して応募ください(作
品には必ず読みがなを付けて
ください)。応募者多数の場
合は抽選での掲載になります。
【あて先】〒987-0511
登米市迫町佐沼字中江二丁目
6番地1
登米市総務部総務課広報係
☎0220 (22) 2090
FAX0220 (22) 9164
E-mail:koho@city.tome.miyagi.jp